

2-1-1-1. 安全な状態とは

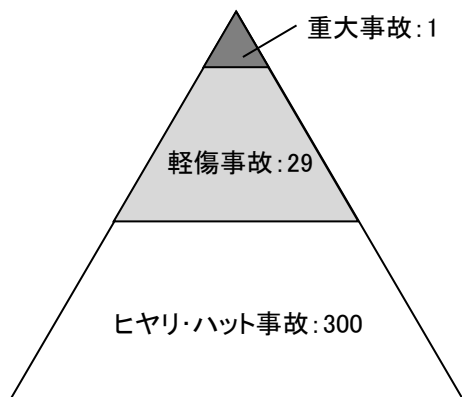
野外における安全を以下のように考えます。

- 個人において：自然と社会との関係の中で、個の心身が健康で安定していること
- 集団において：自然と社会との関係の中で、人間関係が良好であること

2-1-1-2. 野外生活の中に潜む危険とは

ハインリッヒ（Heinrich）の300:29:1の法則

死亡を含む重大事故が1件発生する場合、その陰には29件の軽傷の事故が起きており、さらに300件の潜在的な事故、ヒヤリ・ハット事故が発生しているといわれています。一見安全に見えても、それは危険を見過ごしているだけかもしれません。常に後に起こりうる事故を察知し、回避・対処していくことが重要です。



2-1-1-3. 隊列編成

集団で行う野外活動では、四方から迫って来る危険を回避し、効率的に目的を達成するため、全体を一個の有機体のように組織し、認知・決定・行動することが必要になることがあります。その有効な対応策の一つとして隊列編成があります。隊列には、一列・二列・四列・ランダム等多くの形態がありますが、形状を除けばその原理は比較的シンプルです。下に野研財団が開発し使っている「隊列編成時の相談員の役割表」を示します。集合・移動・ハイキング・川遊びではこの原則を適宜応用して活動します。

隊列の役割		相当の役職	集合時の役割	バス移動の役割	解散時の役割
指揮	controller	D/VD/PC	バス責	バス責	バス責
見張	watch	VD/PC/CC	号責/受付	人数・安全確認	人数・安全確認
先頭	head	PC/PA	先頭係	先頭・ステップ	先頭・ステップ
中央	center	CC	整列係	隊列内誘導	隊列内誘導
最後尾	rear	FC	道路係	車止め・安全	車止め・安全
後方支援	backup	EC/WC	バックアップ	こども最終確認	こども最終確認
保健	medic	HC	保健係	車酔い・健康	車酔い・健康
食料	provisions of food	FC	おやつ・水分係	おやつ・水分係	おやつ・水分係

コラム：考えてみよう2

どんな時でも、事故につながるような危険がどこかに隠れています。今ある情報から、安全策を講じる訓練をしておくとな実際の場面でも役立ちます。写真を使って対策を考えてみましょう。

①どのような危険が考えられますか？できるだけ多く考えましょう。

②それが起こらないようにするためには、何をすればよいでしょうか？できるだけ多く考えましょう。

1. わらび平にて



2. のこぎりを使ったクラフト

